PART2 の・が

★「の」の用法

① **主格**（＝〜　　）

体言の…用言　（例）僧**の**言ふ。

② **連体（修飾）格**（＝〜　　）

体言の…体言　（例）月**の**光、風**の**音、…

③ **同格**（＝〜　　）

[体言]の……[　　形]〜〜〜。

（例）白き花**の**小さきあり。
いと清げなる僧**の**、黄なる地の袈裟着たるが来て、…

④ **準体格**（＝〜　　　）

（例）四条大納言**の**はめでたく、…

⑤ **連用（修飾）格**（＝〜　　　）

●「　　　」中の「の」で「〜　　　」と訳せる。

（例）山鳥の尾のしだり尾**の**ながながし夜(よ)を…

●「　　　」の「の」　＊ただし、例の体言

（例）例**の**集まりぬ。

＊例の人

★「が」の用法

「の」と同じ。ただし、**「が」には「連用（修飾）格」の用法はない。**

（例）　我**が**庵(いほ)は…

いかなれば、四条大納言のはめでたく、兼久**が**は悪かるべきぞ。

※同格の「が」

連体形**が**……連体形〜〜〜。

↓

各連体形の下に**同じ体言**が補えて文意が通じる。

（例）　いとやむごとなき際にはあらぬ**が**、すぐれて時めき給ふありけり。

〈Memo〉

第20講　PART2　確認問題

① 「棟（あふち）の木に、法師の、登りて木のまたについゐて物見るあり。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　法師の登った木の枝にまたがって、見物している者があった。
イ　法師が、登って木の枝にまたがって見物していた。
ウ　法師で、登って木の枝にまたがって見物している者があった。
エ　法師のように登って、木の枝にまたがって見物している者がいた。

② 傍線部のうち、他と意味・用法が異なるものを次の中から選べ。

ア　三尺ばかりなる桜のつぼみ半ばひらけるあり。
イ　今一きは心も浮きたつものは、春のけしきにこそあめれ。
ウ　若葉の梢（こずゑ）涼しげに茂りゆくほどこそ、世のあはれも人の恋しさもまされ…
エ　萩の下葉色づくほど早稲田（わさだ）刈りほすなどとりあつめたる事は秋のみぞ多かる。

③ 傍線部のうち、他と意味・用法が異なるものが一つある。その意味・用法を次の中から選べ。

さてはこのうちにこそと、門（かど）をたたけば、侘（わび）しげなる女の出でて、「いづくよりわたり給ふ道心（だうしん）の御坊（ごばう）にや。あるじはこのあたりの何がしといふものの方に行きぬ。もし用あらば尋ね給へ。」といふ。

ア　主格　　イ　連体格　　ウ　同格　　エ　準体格　　オ　連用格

④ 傍線部のうち、連体修飾格の意味で用いられているものの数を次の中から選べ。

・その弟桃翠(たうすゐ)などいふが、朝夕勤めとぶらひ、…
・これ庄司(しやうじ)が旧館なり。
・妙禅寺の死関(しくわん)、法雲法師の石室を見るがごとし。
・「別しては、わが国氏神正八幡」とちかひしも、…
・曾良(そら)がいはく、「この神は木(こ)の花さくや姫の神と申して、…

ア　一　　イ　二　　ウ　三　　エ　四　　オ　五

⑤ 傍線部a〜cの「の」「が」の意味・用法の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

なりひさこと言ふ物を人のa得させたりければ、ある時、木のb枝にかけたりけるがc、風にふかれて鳴りけるを、かしかましとて捨てつ。

ア　a　連用修飾格　　b　同格　　c　連体修飾格
イ　a　連用修飾格　　b　連体修飾格　　c　連体修飾格
ウ　a　主格　　b　同格　　c　連用修飾格
エ　a　主格　　b　連体修飾格　　c　主格

第20講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 「法師の」の「の」の下に、「物見る」と連体形があるので、そこに「の」の上の体言＝「法師」を入れて訳してみると、「法師で、登って木の枝にまたがって見物している者（＝法師）…」とおかしくないので、同格である。よって、ウが正解。

② イ・ウ・エは「体言＋の…体言」という形で、連体修飾格の意味。アのみ「の」の下に、「ひらける」と連体形があるので、そこに「の」の上の体言＝「桜」を入れて訳してみると、「桜で、つぼみが半分くらい開いているの（＝桜）…」とおかしくないので、同格の意味。よって、アが正解。

③ 「侘（わび）しげなる女の出でて」の部分だけが、「体言＋の…用言」の形をとる主格の意味。よって、アが正解。

④ 連体修飾格は、「体言＋が…体言」の形をとる。よって、「庄司（しやうじ）が旧館」、「わが国氏神正八幡」の二つが正解。よって、イが正解。

⑤ aは「人（体言）の得させ（用言）」という形で、「人が与えた」という意味なので主格。bは「木（体言）の枝（体言）」という形で、「木の枝」という意味なので、連体修飾格。cは「もの（＝なりひさこ）」を補って「～が」と訳せる。よって、エが正解。

〔解答〕

① ウ　② ア　③ ア　④ イ　⑤ エ